

卵巣腫瘍の診断で手術を受けられた患者さんへ

成田赤十字病院では下記の研究を行っています。

この研究は、成田赤十字病院倫理委員会の審査を受け、院長の許可を得て行っているものです。

1. 研究課題名

「卵巣腫瘍における術前診断が腹腔鏡下手術の適応を拡大する」

2. 研究の対象となる方

2013年4月1日～2018年3月31日の5年間に、当科で術前診断と手術を施行した卵巣腫瘍の方

3. 研究の目的

卵巣腫瘍は手術を行い摘出した標本の病理検査が出ることで診断が確定します。他の臓器と異なり手術が治療のみならず診断確定の役割があります。したがって術前の良性、悪性の診断と術後の診断が異なってしまふことがあります。異なった診断となったものを後方視的に再度検討することで術前診断の精度をあげることで、開腹手術より低侵襲の腹腔鏡手術を受けられる機会を増やし患者さんの負担を減らすことを目的としています。

4. 研究の方法

この研究では、術前に行ったMRI画像、超音波検査、腫瘍マーカーの値と、術後の病理検査結果を使います。

5. 研究に用いる試料・情報の項目

情報：年齢、手術術式、MRI検査と超音波検査結果

試料：手術で摘出した組織、腫瘍マーカー

6. 院外への試料・情報の提供

院外への試料・情報の提供はありません。

7. 個人情報の保護について

この研究を通じて得られた患者さんのデータは論文での発表を予定しておりますが、研究を通じて得られた患者さんのデータは、個人情報保護のため匿名化され、番号等個人が特定できない形式により管理されます。

8. 研究への不参加の自由について

ご自身の情報がこの研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方から不参加のお申し出があった場合は研究対象としません。不参加のご判断をされた場合は下記の「連絡先」までお申出ください。（不参加のお申し出があった場合でも、今後の治療で決して不利益を受けることはありません。）

但し、今回の論文で発表した後など、不参加の意思を表明した時期によっては情報の削除ができ

ない場合もありますのでご理解ください。

9. 研究組織

成田赤十字病院 産婦人科 小幡 新太郎

※この研究は当院のみで行い、他施設と共同で行う研究ではありません。

10. 本研究に係る資金ならびに利益相反について

本研究により予想される利害の衝突はないと考えています。本研究における開示すべき利益相反はありません。

11. 連絡先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

成田赤十字病院

研究責任者：産婦人科 小幡 新太郎

住 所 : 〒286-8523 千葉県成田市飯田町90番地1

電話 番 号 : 0476-22-2311 (代表番号)

以上